

TAKAO

599

MUSEUM

高尾の里拠点施設整備あり方検討会報告書

もくじ

1. 拠点施設のご提案にあたって	拠点施設が目指すもの	003
	拠点施設が保有すべき機能とは？	004
	拠点施設の基本構造	010
2. 拠点施設のコンテンツについて	各ゾーンのご説明	021
	(1) くつろぎスペース	024
	(2) 展示スペース	037
	(3) 映像スペース	074
	(4) ギャラリー高尾	088
	(5) 屋外スペース	095
3. 拠点施設のブランディングについて	拠点施設名について	099
	一貫したデザインの統一	105
	拠点施設プロモーション	123
4. 参考史料	これまでの経過と予定	132
	高尾の里拠点施設整備あり方検討会名簿	134
	高尾の里拠点施設整備あり方検討会検討経過	135
	高尾の里拠点施設整備あり方検討会設置要綱	136

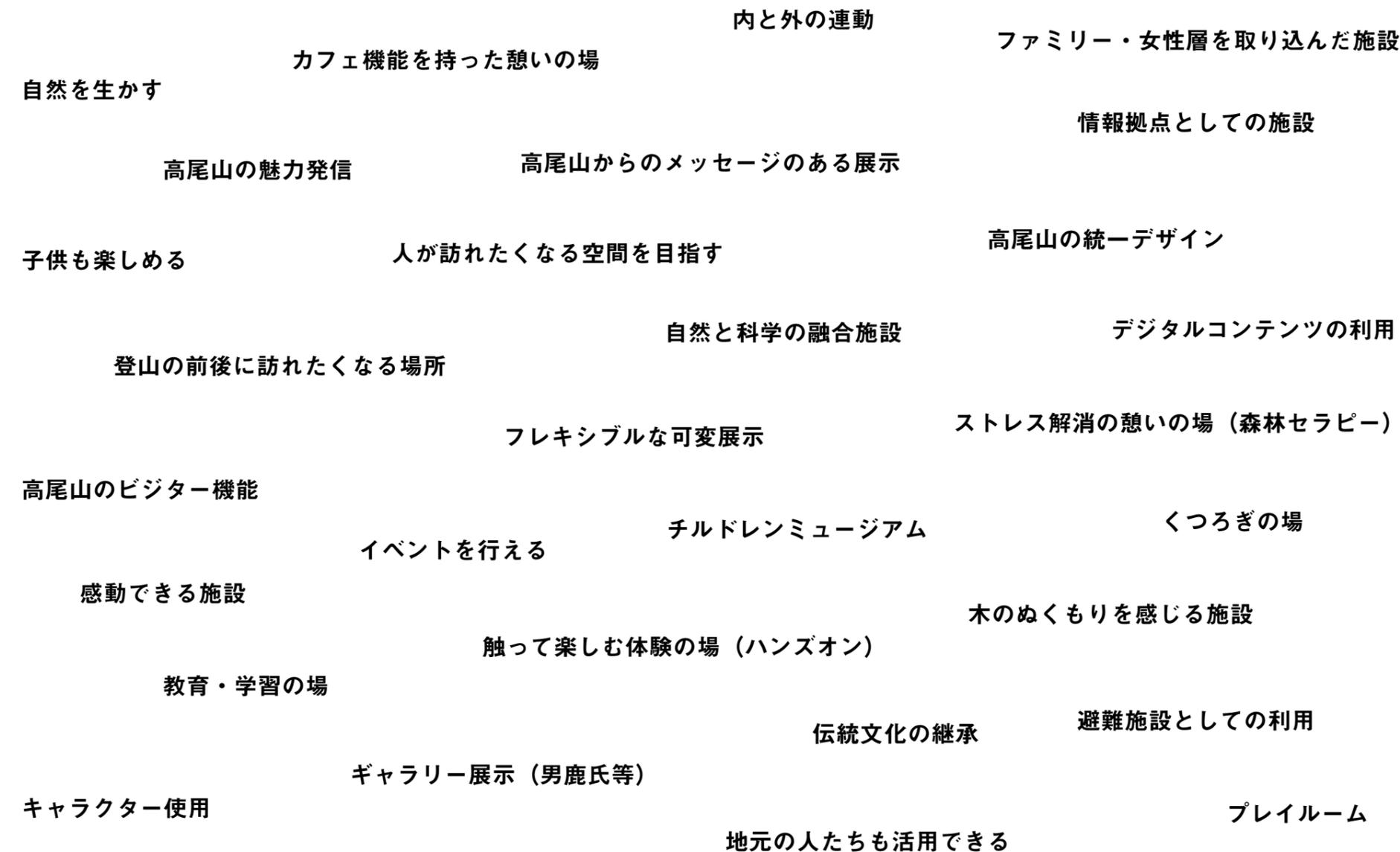
1. 拠点施設のご提案にあたって

拠点施設が目指すもの

高尾山が、次の100年も、
世界中の人々に愛され続ける山であるために。
稀に見る豊かな生態系や薬王院に代表される歴史など、
高尾山が内包する魅力を今いちど丁寧に見つめ直し、
新しいカルチャーと、まちの新たな活力を創出していくこと。

高尾山の新たな魅力と活力を 創出する場として、 拠点施設が保有すべき機能とは？

各方面から、寄せられたさまざまな意見。



吸い上げた意見を分類すると、
3つの機能に集約できる。

ミュージアム機能（新しい文化創造）

- ◎高尾山の豊かな生態系・歴史など、秘めたる魅力を発信する空間。
- ◎未来の文化を創出する子供たちへ、体験型の学習環境を提供する空間。

公園・広場機能（地域活性・交流）

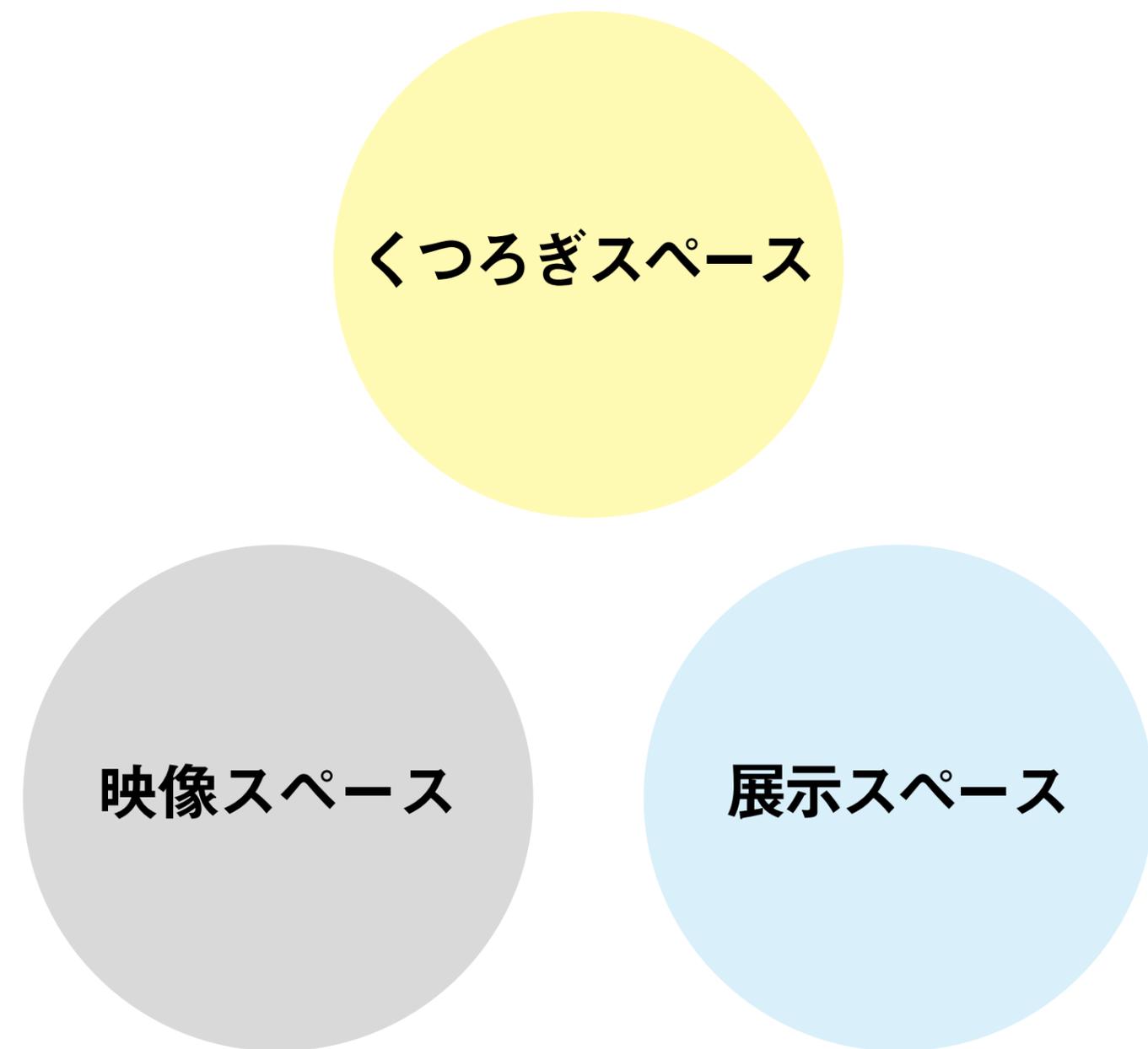
- ◎子供も家族も、誰もがくつろぎ楽しめる空間。
- ◎地域に開かれた、パブリックスペースとして機能する空間。

ビジター機能（観光・登山補助）

- ◎登山をより楽しむための予習環境を提供する空間。
- ◎啓蒙活動の一環として、登山に対する高尾山のメッセージを発信する空間。

以上を踏まえ、
魅力的な空間を実現するための
5つのキーワード

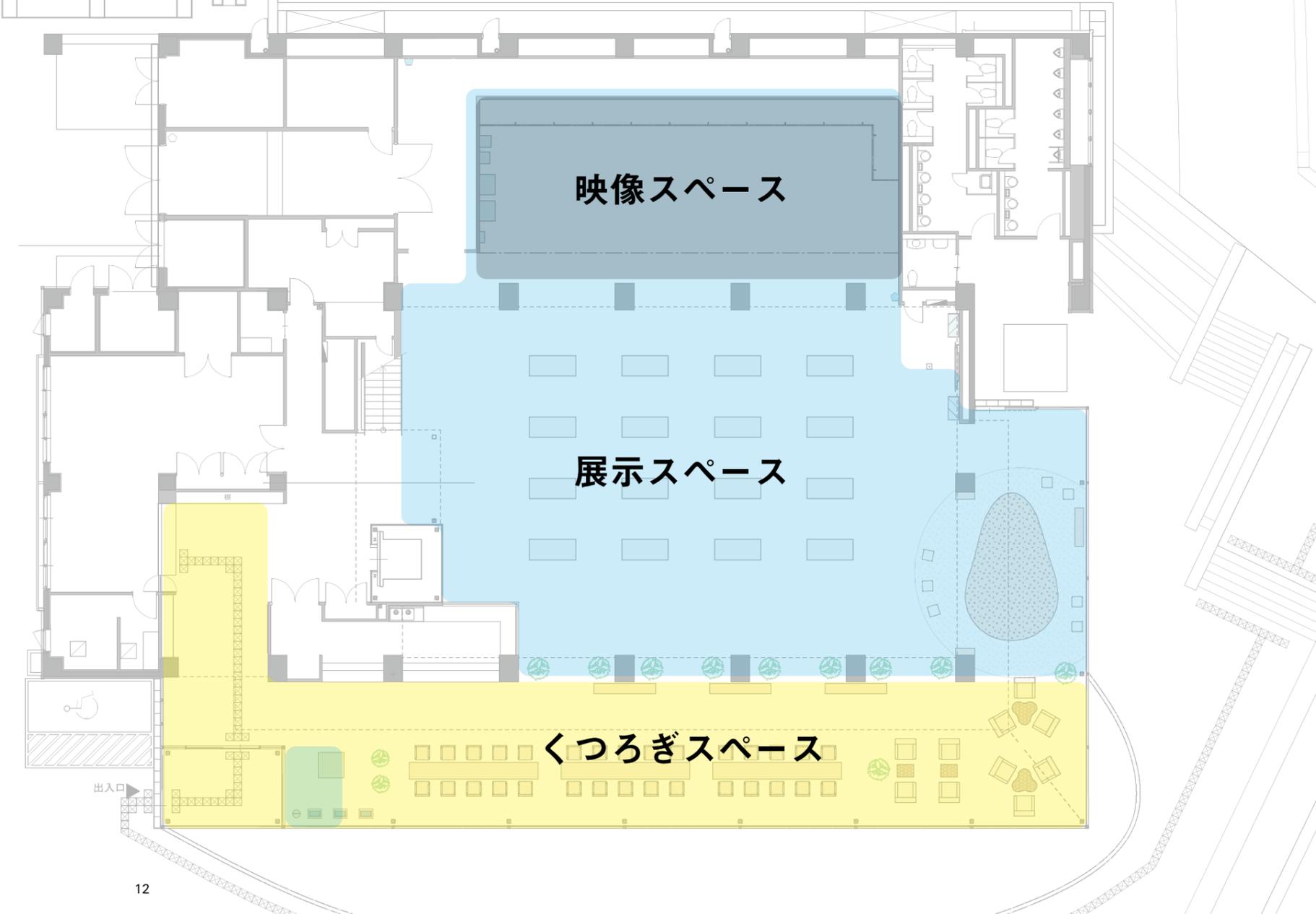
- 1 新しい視点で生態系を見せる
- 2 誰もがくつろげる
- 3 臨機応変に対応できる
- 4 子供や家族が楽しめる
- 5 内と外の連動性がある



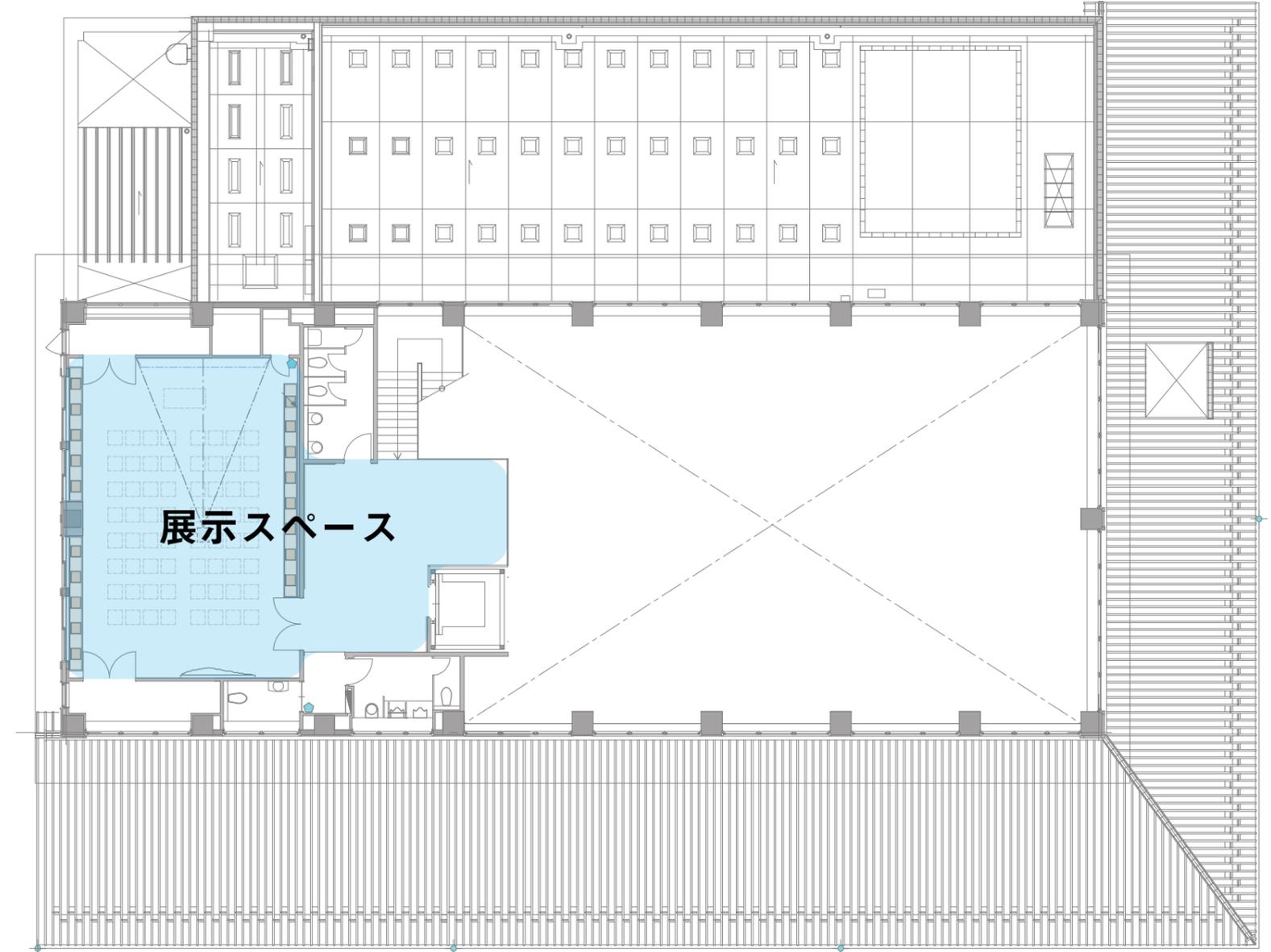
基本構造のご説明

高尾山に来た人がまず訪れ、
下山してからも訪れるための施設として、
拠点施設は「くつろぎスペース」「展示スペース」
「映像スペース」の3つの要素で構成されている。

基本構造_1F

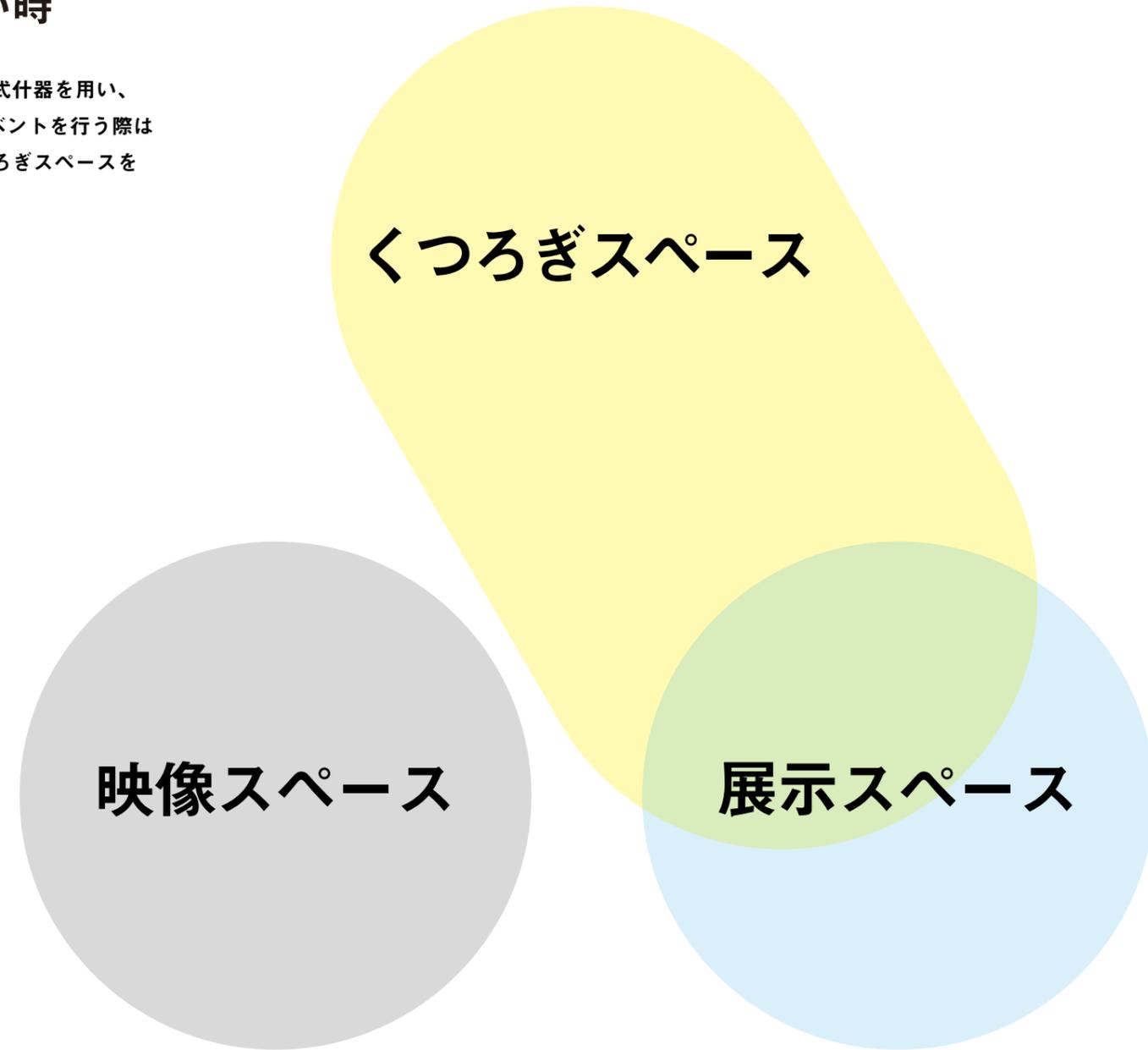


基本構造_2F



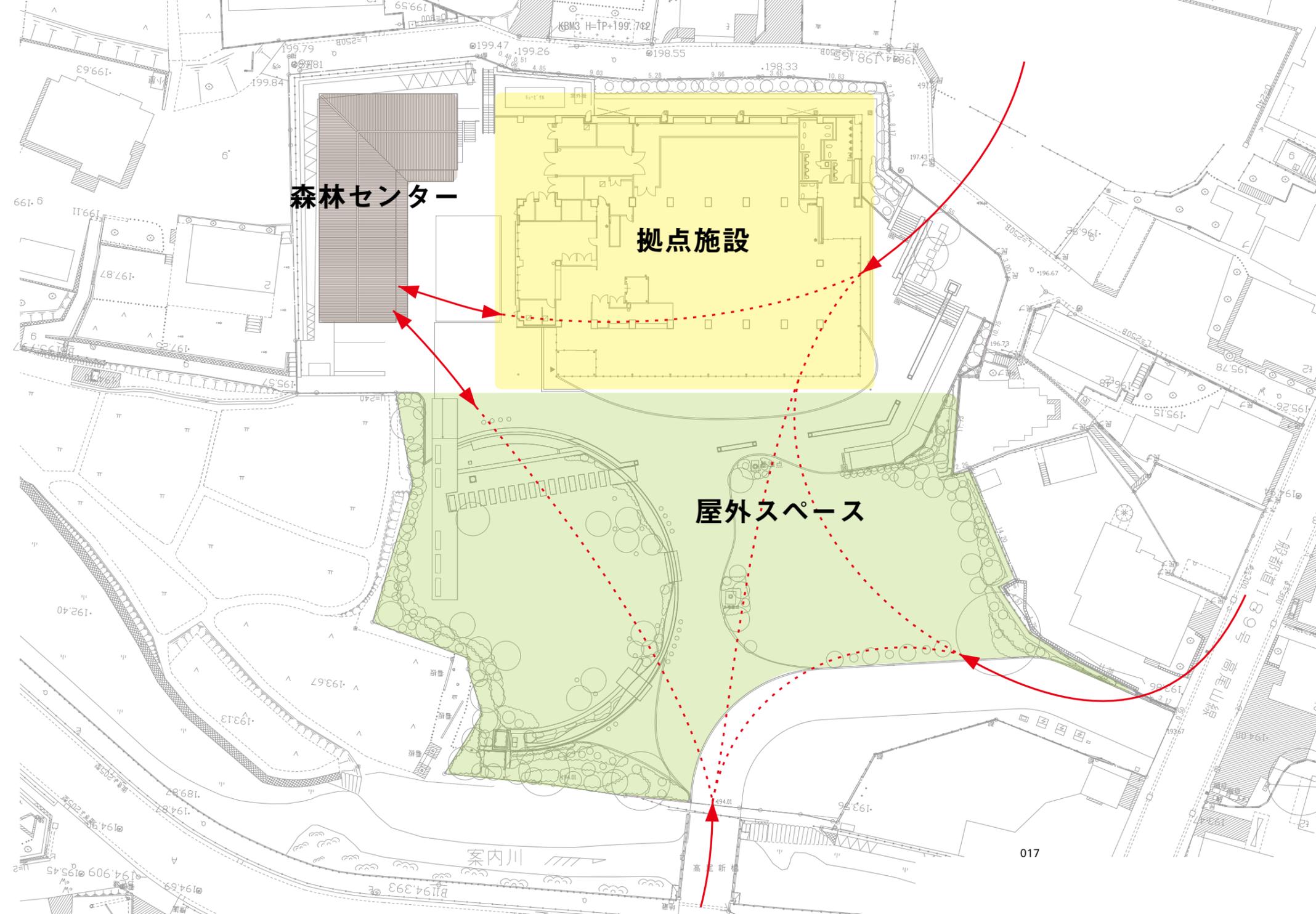
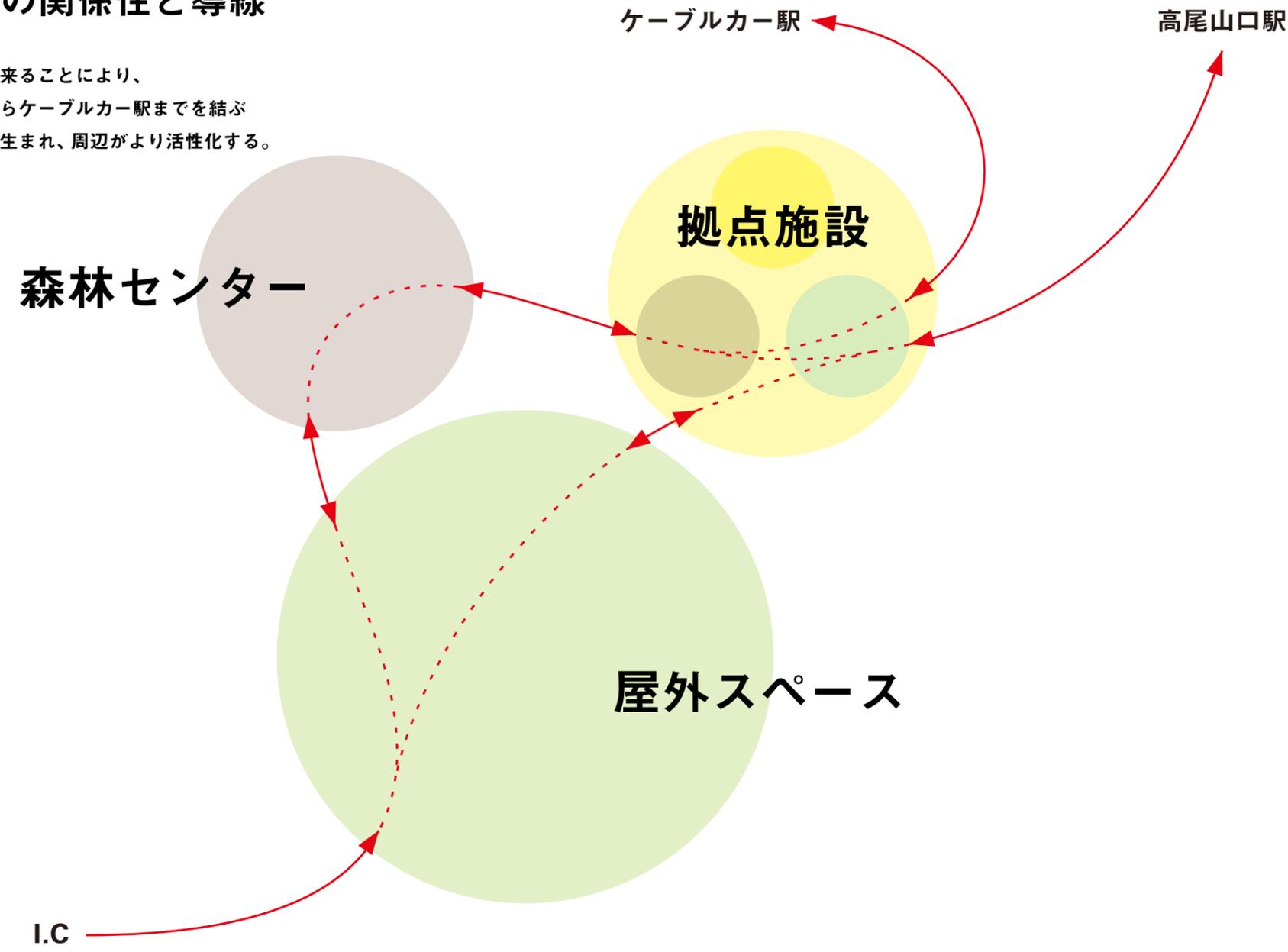
人出が多い時

展示スペースは可動式什器を用い、
人出が多い時や、イベントを行う際は
什器を動かしてくつろぎスペースを
広げることが出来る。



外部との関係性と導線

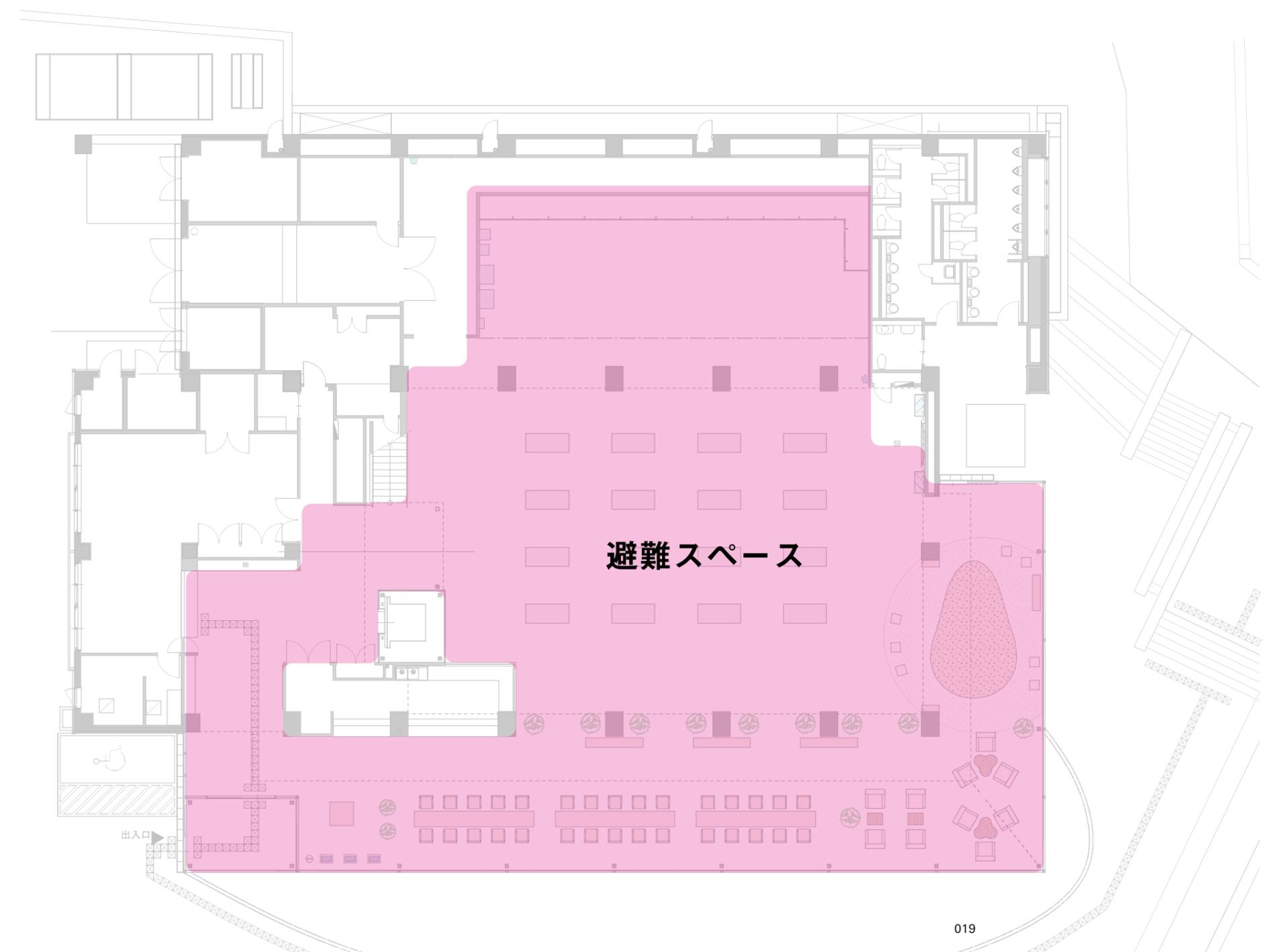
拠点施設が出来ることにより、
高尾山口駅からケーブルカー駅までを結ぶ
導線に変化が生まれ、周辺がより活性化する。



非常時

震災などの非常時には、屋外空間も含めた拠点施設の全スペースが避難スペースとして機能する。

避難スペース



2. 拠点施設のコンテンツについて

各ゾーンのご説明

基本構造

1

くつろぎスペース

CAFE 機能を持ち、
誰もが活用できる空間。

3

映像スペース

剥製を壁面に展示し、映像と
組み合わせた独自展示の実現。

2

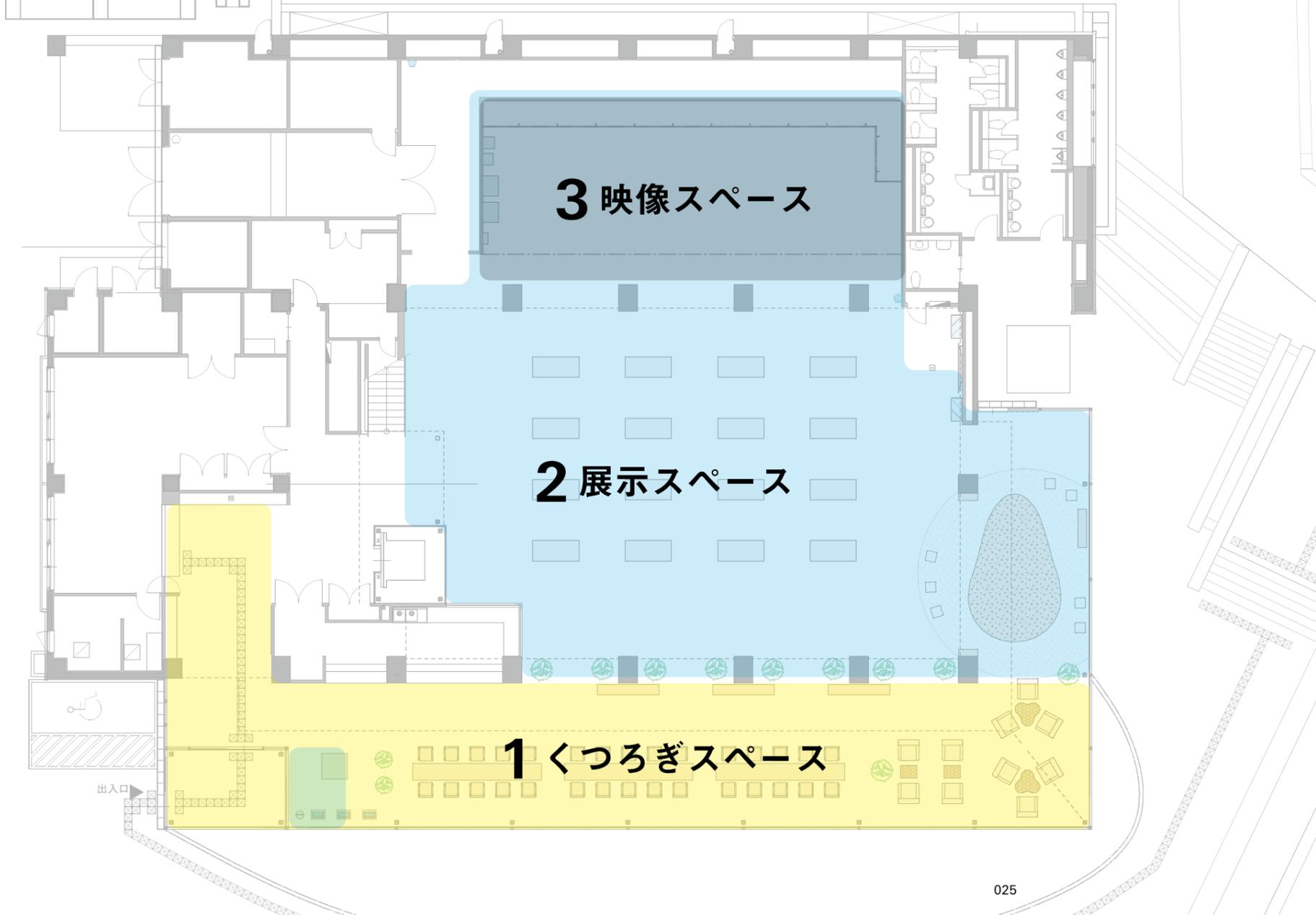
展示スペース

高尾山の歴史や登山ルートを紹介、
花や昆虫など自然物に特化した展示。

1 くつろぎスペース

- ◎ CAFE 機能を持ち、誰もが活用できる空間。
- ◎ 外と内が連動した気持ちいい空間。
- ◎ 外では芝生で自由にくつろげる。
- ◎ 多摩産材を用いたテーブルやベンチの設置。

基本構造_1F



施設内の床面と屋外のグランドレベルをそろえ、
内と外との連動感をつくり、
開放的で気持ちの良い空間をつくる。



カフェテリア

施設内にカフェを併設。遠路はるばる訪れた来館者が
美味しいコーヒーを飲んで、ゆったりとくつろげる
憩いの時間とスペースを提供する。



屋外を見渡せる気持ち良い空間に、多摩産材を用いた
テーブル、ベンチを設置する。
室内にも植栽を置くことで、内と外の連動感を持たせる。



030



外はオープンテラスのようになっており、
お弁当を食べたり、自然の中でゆったりとくつろぐことができる。

031

ミュージアムショップ

拠点施設のカタログやオリジナルグッズ、
さらに八王子の産品、地元のクリエイターの
作品などを販売するスペース。

高尾山のお土産を販売するのではなく、
あくまでミュージアムグッズの販売に特化することで、
周辺店舗との競合を避け、差別化を図る。



高尾山ライブカメラ

登山前の予習ができるように、高尾山の旬の見どころや、通行止め、緊急告知などを書き込む掲示板を設置。

また、頂上、中腹、麓の3地点を中継するライブカメラモニターを3台設置し、リアルタイムの高尾山の情報を提供する。

